

ほ く

ゆ う

北 強

第65号

2025東北大学学友会体育部

題字 第13代学長 加藤陸奥雄

北 雄

第65号

目次

グラビア	
広告掲載会社一覧	3
巻頭挨拶	4
第64回全国七大学総合体育大会	9
部活の華（男子部員）	15
部活の華（女子部員）	23
常任委員会紹介	33
体育部年間行事紹介	37
各部総括	43
キャンパス案内	151
四賞並びに学友会長賞	155
第71期常任委員会報告	161
編集後記	182

株式会社ジエイ・プロード	表2
一般社団法人 学士会	8
株式会社文化放送キャリアパートナーズ	14
早坂愛正会病院	41
株式会社日本コスパ	42
株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース	148
アクセスネクステージ	149

広告掲載会社一覧

多彩な経験を通じた成長の場へ



学友会体育部長

久保正樹

新入生の皆さん、東北大学へのご入学、心よりお祝い申し上げます。令和6年度より学友会体育部長を務めております、工学研究科・工学部の久保です。36年前、私も東北大学に新入生として足を踏み入れ、現在に至っております。部活動を応援する学友会体育部長として、また先輩の一人として、ご挨拶申し上げます。

大学生活は、学業を通じて知識を身につける場であると同時に、多種多様な経験を重ねることで、自己の可能性を広げる場でもあります。大学における部活動は、新たな挑戦と学びの宝庫と言えます。競技に打ち込むことはもちろん、合宿や遠征、部の運営や大会の企画運営、他大学や他の団体との交流など、様々な経験を通じて視野を広げることが出来ます。

東北大学の部活動は、学生が主体的に運営する点特徴です。日々の練習スケジュールの調整、練習計画、試合の準備、大会の企画運営などの活動は、スポーツの枠を超え、リーダーシップやマネジメント能力を育む絶好の機会となります。これらの活動は、単なる技術向上や勝利の追求に止まらず、社会に出た際に必要となる実践力や柔軟性を培う場でもあります。

皆さんには、部活動を通じて、是非とも様々な活動に果敢に挑戦することを期待しております。仲間と共に研鑽を重ね、時には困難を乗り越えながら、掲げた目標に向かって邁進するプロセスそのものが、皆さんの大学生活をより充実したものにしてくれるでしょう。

東北大学は令和5年（2023年度）から大学スポーツ協会

（UNIVAS）に加入しております。大学スポーツの総合力No.1を競う競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP」2023-24の最終ランキングで、東北大学は「東北地区ランキングで第2位」、「国立大学ランキングで第2位」となりました。本学が課外活動にも力を注いでおり、国立大学の中で大学スポーツのレベルが高いことの証と言えます。

東北大学の部活動には、各部においてそれぞれ歴史と伝統があります。長い時間をかけて諸先輩方が築き上げてきたものは、活動を支える重要な礎となっています。それぞれの部で受け継がれている伝統には、先輩方の多くの努力や挑戦の軌跡が刻まれています。その伝統を理解し、活用しながら活動に取り組むことで、今度は皆さんが新しい景色を見て、それらを新しい歴史として刻み、次の世代へつないでいくことができるでしょう。是非とも、各部の歴史に名を刻み、新たなページを書き加えることを期待しております。

多くの友人や仲間と出会い、様々な経験を積み重ね、大きく成長してください。皆さんの活動が素晴らしい未来へとつながることを心から願っております。

新入生の皆様へ



第7期常任委員長

根本侑真

新入生の皆様、東北大学へのご入学おめでとうございます。東北大学学友会体育部常任委員会委員長を務めております根本侑真です。今までに新たな生活へ一歩を踏み出す皆様に向けて、3年前に東北大学に入学した先輩としてご挨拶申し上げます。

大学生活は自由です。世間では大学生活が一番自由な期間であるといわれていますが全くその通りだと思えます。キャンパスライフをどのようにするのかをすべて自分で決めることができます。だからこそ私は、大学生活とは時間との戦いであると思っています。なぜなら大学生活には学問は勿論、課外活動やアルバイト、趣味や新たな交友関係など、多くのごことから刺激が得られるからです。

東北大学体育部に入学することも特別な経験となると思えます。

東北大学の体育部は全国的に見てもハイレベルです。全国七大学総合体育大会の最多優勝をはじめとし、昨年度は「鳥人間コンテスト」や「全日本大学駅伝」でも大きな功績を残しました。文武両道を実現し、素晴らしい成績を残している体育部は、東北大学の誇りです。

東北大学の教育理念の中には「研究第一」といった言葉があります。2024年には文部科学省により国際卓越研究大学にも選定され、東北大学の研究第一主義は確固たるアイデンティティとなっていますが、実は、私はこの研究第一主義こそが東北大学の体育部の強さの根源になっていると考えています。学生中心で行う大学の部活動では各々の競技に対する

主体性が重要です。どのように部活動を進めていくのか部員それぞれが真剣に向き合わなければなりません。私は、それらをサポートする常任委員会に所属しているからこそ断言することができます。東北大学生は部活動で日々「研究」しています。自分の技術を高めるため、チームを強くするために何をすればよいのか、自分たちの欠点はどこでどのように改善すればよいのかなど、目標達成のための分析を怠りません。分析を積み重ねて戦略を練り、失敗からも積極的に学ぶその姿勢が今日の成績を生んでいるのです。

このような環境に身を置くことはあなたの心を刺激し、何ものにも代えがたい経験を与えてくれるでしょう。少しでも体育部に興味の湧いた方はぜひ各部の新入生歓迎イベントや体験入部に参加してみてください。皆様の入部を心よりお待ちしております。

大学生活の4年間は長いようであっという間に過ぎてしまいます。ぜひ後悔のないように多くのことに挑戦してみてください。最後に、皆様の大学生活が有意義で、喜びが溢れるものとなることを心よりお祈り申し上げます。



学友会応援団
第八十二代団長

菅野 一歩

新入生の皆さん、この度は東北大学への入学誠におめでとうございます。いよいよ大学生活が始まります。大学生は自由です。サークル、バイト、学業何に打ち込むのも自由な、それでいて何もしいには長い時間があります。何をしようか迷っているあなたがおそらくこの冊子を手にとっていることでしょう。そんな最後の学生生活の選択肢として部活動をおすすめします。

さて、皆さんは部活動というとどんなイメージを持っているでしょうか。辛い、厳しい、もう高校までで部活動は十分、そんな方もいるでしょう。しかし、そんなネガティブなイメージを補ってあまりある魅力が部活動にはあります。

大学の部活動の最たる特徴の一つは学生中心の運営にあります。高校までのそれとは違い、学生が活動の一から十まで決定します。大学と連絡を取ることで、練習場所を確保すること、試合会場までの移動手段を確保することなど必要なことは多岐にわたります。体育館に入ることの利点の一つは組織について学べることにあります。仲間と協力すること、目標の達成のために侃々諤々の議論を重ねる経験、組織の在り方や運営の効率化について学生のうちに考える機会はきつと社会に出た時にあなたの力になってくれます。

部活動における人間関係は当然濃密なものになります。人間関係を煩わしいと思うことや部活動の運営方針をめぐって仲間と対立することもあるでしょう。本音で語ることは多大なエネルギーを消費します。しか

し、対立するのはお互いに真剣に向き合っている証拠でもあります。高校までは消極的に部活動に所属する人もいますが、大学ではそのような人はいません。同じ熱量で部活動に取り組む同志は時にぶつかるとはあれど、感動や経験を共有する一生涯の仲間となります。本気で取り組むからこそ得られる達成感やそしてそれを共有することができる仲間といった代えがたいものを得ることができるでしょう。

大学生活は社会へ出る前のモラトリアムだとよく言われます。確かに、高校までより自由になる時間はかなり多くなります。現代はSNSやスマホゲームなど、時間をつぶすのは簡単に手に入る娯楽も大量にあります。わざわざ辛い思いをして部活動に時間を費やすのは無駄なように思えてしまいかもしれません。しかし、体育館に入り過ごす大学生活には本気で泣き笑う、刺激的な毎日が待っています。

東北大の体育館は現在50を超える団体があります。そのなかには大半が大学から競技を始めるものもあります。経験のある競技を続けるのもよし、新たな競技に挑戦するもよし、せつかくの大学生活、可能性を狭めてしまつのはもったいないことです。まずは新歓に足を運んでみて下さい。

最後の青春をどのように過ごすかはあなた次第です。どのような選択をしても素晴らしい大学生活が待っていることを祈ります。ですが、皆さんを応援する。あるいは共に応援する未来が来ればうれしく思います。

学生歌

青葉もゆるこのみちのく

(昭和28年度選定)

作詞 法学部 野田 秀
作曲 工学部 阿座上 竹四

Musical score for the song 'Aoi no Mochi Yuru Kono Michi no Kuni'. It consists of six staves of music with Japanese lyrics written below each staff. The lyrics describe the beauty of the campus and the spirit of the university.

一、青葉もゆる このみちのく

今ここに はらから われら
力もて歌う 平和の讃歌
われらこそ 国のいしげえ
理想ある 生命は常に美し

さらば 生きん
友よ 生きん

あゝ 東北大
あゝ 東北大

二、萩のかおる この宮城野

今ここに 集いし われら
愛もて求むる 真理の目標
われらこそ 学都の誇
歴史ある 伝統は常に若し

さらば 伸びん
友よ 伸びん

あゝ 東北大
あゝ 東北大

三、朝鳥啼く 広瀬の川

今ここに 安らう われら
心もて語る 自由の行手
われらこそ 世界の要
未来ある 若者は常に強し

さらば 行かん
友よ 行かん

あゝ 東北大
あゝ 東北大

これから

“山脈”を手に入れるのは、



至難の業ですが、

これから



“人脈”を手に入れるのは、

簡単です！！

学士会学生会員なるのも、

簡単です！！



人脈作りなら、



学 士 会

<https://www.gakushikai.or.jp/>